

2025年度 人権 NPO 協働助成金（半年コース）事業一覧

※下記の内容は交付申込書に基づき事務局が抜粋加工しています。

※内容については、取り組みが進むなかで変更が生じることがあります。

一般財団法人 大阪府人権協会

団体名	一般社団法人 両国人権福祉交流センター	特定非営利活動法人 こどもの里
重点	当事者のつながりづくり	当事者のつながりづくり
企画名	災害時を踏まえた独居高齢者のつながりづくり	「ぼうさいタイム」であそぼうさい
課題	両国市営住宅には、独居高齢者が多く、災害時に声をかけてもらえず取り残されるリスクがあります。日常のつながりの弱さが、防災上の大きな課題です。	見守りが必要な家庭や孤立しがちな家庭でのつながりづくり 西成区の南部（南津守）は見守りが必要とされている家庭が多いが、こどもの居場所が少なく、津波等の災害リスクが高いとされている地域のため、つながりづくりがより必要とされる。
目標	ご近所で声をかけ合える関係を日常から育み、災害時に誰も取り残されない地域をつくります。	避難場所等の話をきっかけとして、保護者とのつながりづくりをより深める。また、地域や学校への発信をすることにより、地域全体でこどもたちを見守る。
内容	「みんな食堂」での防災週間の実施、独居高齢者への個別備えサポート	実際に起こった災害や地域の災害リスクについて体験や講師の話を通して学ぶ。地域を探検し、防災マップを作成する。保護者と連携し、避難場所等を確認、実際に訓練を行う。これまでの活動を振り返り、地域、学校へまとめたことを発信する。
協働	① ニーズ調査に必要な設問（案）に対するアドバイス ② ボランティアを増やすための工夫や知識の教示 ③ 取り組みの周知や関心がある人への周知活動	地震について学ぶことで、普段からの備えやつながりが大切なことに気づき、家庭で保護者とこどもが話すきっかけや、南津守こどもの里と家庭との連携をより深めることにもつながる。また、町探検をして、地域の避難場所を確認することにより、実際に地震が起きたときの迅速な対応がスムーズになる。その上、こどもたちが地域の人や地域のこどもたちの居場所として地域の方々に浸透することを（目指す。） 今後も、年に 1 回は避難場所の確認や訓練を行い、対応のふりかえりと見直しを行う。また、活動の様子を地域や学校に発信することで、継続的かつ包括的な防災対策にしていく。